

1999年9月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度場では、極渦は分裂し、中心は東シベリア海とカナダ多島海付近に見られた。ヨーロッパ北部からカラ海、日本付近、アメリカ合衆国西海上、北アメリカ北東部では顕著な正偏差に覆われた。一方、大西洋北東部、西・中央シベリア南部、東シベリア、アラスカ湾、アメリカ合衆国中部では顕著な負偏差となった。偏西風はユーラシア大陸から太平洋にかけては平年よりも北寄り、30 m/s以上の強風域は平年よりも東西に広がっていた。ヨーロッパでは南北の分流が顕著に見られた。日本付近のジェットは月を通して平年に比べて北に位置し、平年よりも強かった。200 hPaにおける速度ポテンシャルの分布図では、大規模発散域の中心はフィリピンの東海上にあり、平年に比べて5度程度西偏していた。中央アメリカ付近の発散中心はほぼ平年並の位置であった。SOI（南方振動指数）は-0.1（暫定値）であった。

世界の天候

① 東アジアの高温

月平均気温は日本から中国にかけての広い範囲で異常高温となった。中国のウーハンで26.5°C(+3.4°C)。

② 西日本からフィリピンにかけての多雨

月降水量は西日本から韓国南部にかけてとフィリピン北部、インド北東部で多かった。ウズベキスタンのタシケントで11 mm (275%)。中国の南東部で大雨により100人以上の死者が伝えられたほか、韓国や香港でも台風被害が伝えられた。

③ インドネシアからインド南部にかけての高温

④ ヨーロッパからアフリカ北部にかけての高温

月平均気温はヨーロッパの広い範囲で異常高温となった。ドイツのハンブルグで18.0°C (+4.5°C)。

⑤ ヨーロッパ西部の多雨

月降水量はヨーロッパ西部で異常多雨となった。フランスのナントで200 mm (321%)。

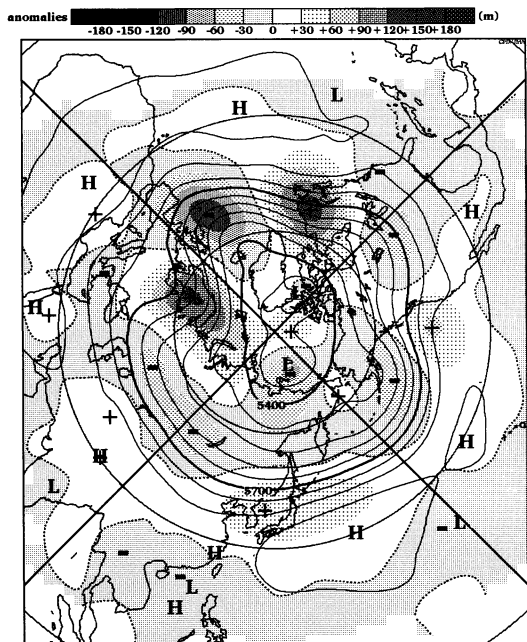
⑥ 米国北東部の高温

⑦ 米国東部の多雨

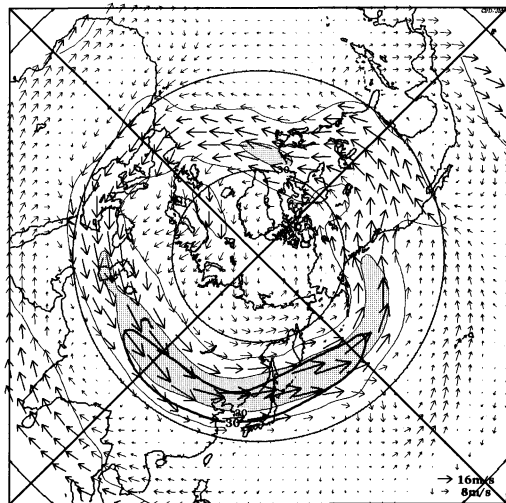
月降水量は米国東岸部で異常多雨となった。米国のリッチモンドで422 mm(594%)。米国東部では中旬にハリケーン「Floyd」により60人以上の死者が伝えられた。

⑧ 南米北部の高温

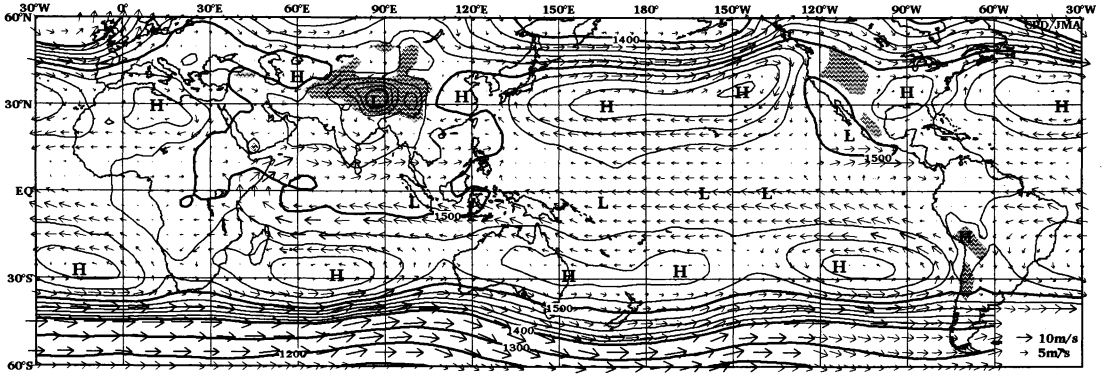
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 西潟政直)



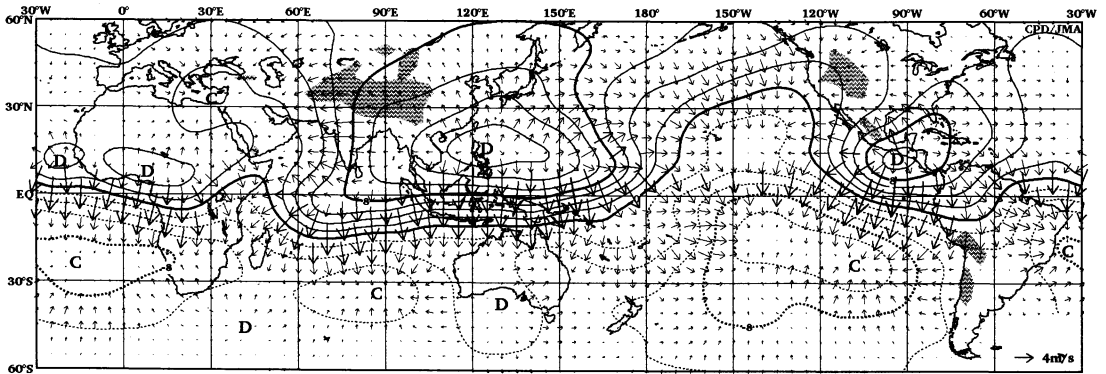
1999年9月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



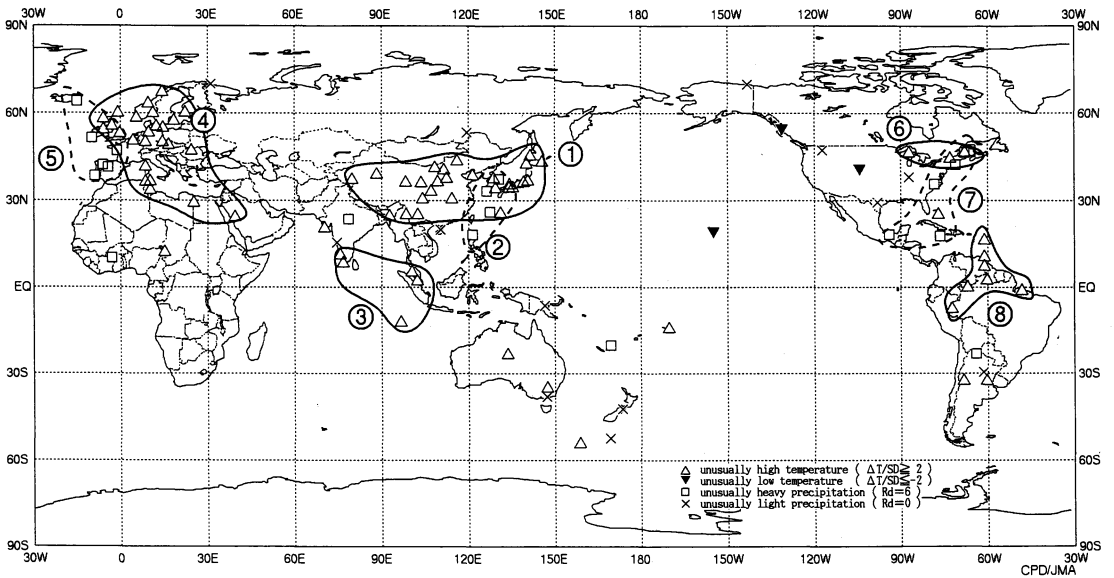
1999年9月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上、平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



1999年9月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



1999年9月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は 2×10^6 m²/s



1999年9月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.